

令和3年度 在宅医療介護従事者研修会～感染症対策編～

職 種		質 問	回 答
訪問サービス	事務	理学療法士等が在宅でリハビリをする際、利用者との接触があるため、ガウンや手袋を着用した方がよろしいでしょうか？	標準予防策の考え方で、判断していただければよいと思います。利用者さんの血液や体液、排泄物、分泌物など汚染されるリスクがあれば着用が必要となります。例えば、皮膚に疾患がある（皮膚びらんがある、落屑が激しいなど）、または傷などがあれば手袋やエプロンの着用は必要になります。コロナ渦のため、サージカルマスク+アイガード（目の保護）は確実に行った方が安全です。个人防护具の着用が不要な場合でも、手指衛生の励行は重要です（特に利用者さんとの接触前後）。
その他	主任介護支援専門員・介護支援専門員	エプロンを外したあとマスクを外す前にも手指消毒を入れなくても良いのか	複数のPPEを脱ぐ際は、初めに手袋を外して手指衛生を行います。そのためここで手の汚染は一度リセットされたこととなります。そのあとにエプロンを外す際、「汚染されている可能性のある表面は触らずに脱ぐ」という考えより手指衛生は入れています。もしもエプロンを脱ぐ際やマスクを外す際に汚染表面に触った、もしくは触れた可能性があれば手指衛生は必要になります。すべての脱衣が終わった後に手指衛生を行うのは、エプロンやマスクを外した際に手が汚染されたリスクも考慮しますが、次のケアや対象患者（利用者）エリアから離れるために必要となります。
訪問サービス	看護師・准看護師	資料の配布をお願いしたい	
訪問サービス	看護師・准看護師	訪問看護で訪室する際、エプロン着用します。手指消毒・バイタルチェック・入浴介助します。その際に訪室の際に着用したエプロンをまた交換して入浴介助をするべきか、来室事のエプロンのまま入浴介助をしケア終了後にエプロンを装着したほうがよいか悩んでいます。	訪室時に着用するように決まりがあるのならば、入浴介助後にエプロンは新しい物に交換した方がよいと思います。エプロンを着用するタイミングは、標準予防策の考え方より、衣服に血液や体液など汚染する可能性のある場合なので、バイタルサイン測定時に衣服が汚染する可能性がなければ着用は不要で、入浴介助前に着用頂ければ良いかと思います。
通所サービス	介護福祉士・ヘルパー等介護職	歯ブラシの消毒方法についてお尋ねします。現在、口腔用でも大丈夫という消毒液100mlに対して10mlの消毒液に1時間浸水して乾燥器で乾燥しています（浸水する場合はしっかりと洗浄しています。血液が付着している場合は別にしてはいます）25名程度の方の口腔ケアをしています。ご指導をお願いします。	特に問題はないと思います。ただ、講演会の中でもお話させて頂きましたが、スポンジ同様、歯ブラシも定期的な交換をお願いします。あとは、歯ブラシは数本をまとめて保管せず、1本ずつ（歯ブラシ同士がつかないように）立てて保管するのが望ましいです。

|